

令和2年度

“大雪・富良野ルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:大雪・富良野ルート		報告者:ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一						報告年月日:2021/3/31
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	令和2年度					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	北海道らしい雄大な景観を美しく見せる	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止となった。			ゴミゼロキャンペーンや花の植栽活動については、新型コロナウイルスにより中止となった。100年の木プロジェクトについては継続的に活動を行っている。今後は秀逸な道と連携した景観保全の取り組みを推進する。
			人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～	美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会)	総会:5月12日(書面)維持管理・点検:5月29日、9月23日 全体会議:10月29日(旭川)	全体会議約20名 植樹約10名	A - 1	
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を高めるために、阻害要因の除去や道路施設の整備を行う	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止となった。			
		ビューポイントを整備して大雪山・十勝岳連峰の眺めを楽しめるようにする	かみふらの見晴台情報ステーションでの情報案内	かみふらの十勝岳観光協会	5月～9月	—		
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を確保するためのルールの整備を進める	人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～	美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会)	総会:5月12日(書面)維持管理・点検:5月29日、9月23日 全体会議:10月29日(旭川)	全体会議約20名 植樹約10名	A - 1	
	波状丘陵地の田園景観を保全する	田園景観保全のための仕組みを観光と関連を持たせながら検討する	人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～	美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会)	総会:5月12日(書面)維持管理・点検:5月29日、9月23日 全体会議:10月29日(旭川)	全体会議約20名 植樹約10名	A - 1	100年の木プロジェクトは十勝との連携活動で8年目を迎える。継続的に取り組みが行われており、サインツリーによる美しい景観が創出されている。今後も田園景観の保全に向けて、検討を進める。
		田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う	—	—	—	—		
		田園景観を整えるためにさまざまな農業施設を景観にも配慮されるようにする	—	—	—	—		
	花人街道としての景観を整える	地域の原風景としての景観を保全するための研究を行う	—	—	—	—		ルートのサブテーマが花人街道となっており、植樹活動はルート当初より実施されている。現状の課題としては、活動の担い手不足等があるため、今後は活動体制の強化を目指す。
		沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う	人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～	美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会)	総会:5月12日(書面)維持管理・点検:5月29日、9月23日 全体会議:10月29日(旭川)	全体会議約20名 植樹約10名	A - 1	
		花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する	—	—	—	—		
		沿道の景観阻害要因に対して修景計画の策定を行う	—	—	—	—		
		森林景観を保全するための活動計画の策定を行う	—	—	—	—		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:大雪・富良野ルート		報告者:ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一						報告年月日:2021/3/31
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	令和2年度					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	
地域づくり	活力ある地域づくり	ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る	情報拠点の運営	かみふらの十勝岳観光協会	5月～9月			シーニックバイウェイの活動やイベント、美しい風景パネル等を通して、地域情報の発信を充実し活力ある地域に向けた取り組みを実施している。今後もシーニックの認知度向上・普及に向けて、PRの充実を図る。
			—	—	—	—		
		地域の情報発信力を強化し、情報媒体の多彩化を図る	地域情報ペーパーの作成・配布	大雪・富良野ルートサポートセンター、上川中南部道の駅連携会議、旭川開発建設部	通年	ルート内情報拠点2箇所、上川道の駅6箇所		
		地域住民参加への活動を強化する	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止となった。			
			情報拠点での地域情報発信	かみふらの十勝岳観光協会	5月～9月	—		
			「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展	大雪・富良野ルート運営行政連絡会議	10月21日～11月4日 旭川地方合同庁舎アトリウム 7月21日～8月18日、1月26日～2月16日 旭川空港	—	A - 4	
			—	—	—	—		
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	シーニックの活動に対する地域連携意識を醸成する	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止となった。			恒例化しているルート活動であるゴミゼロキャンペーンが新型コロナの影響で中止となったため、たくさんの方が参加する取り組みは実施できなかった。今後は連携強化や参加意識醸成に繋がる活動を見直し、展開していく。
			—	—	—	—		
			—	—	—	—		
	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	各種キャンペーンの立案によって参加意識を高める	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止となった。			ルートを特徴づける景観の多くは農業景観のため、農業と観光の接点を強化し、相乗的に活性化する方法を模索している。見晴台公園は直売施設を併設し、週末に直売を行っていたが、令和2年度は新型コロナの影響で活動できなかった。
		安全な地域農産物の魅力を情報として発信する	シーニック情報拠点「見晴台公園」にて野菜を直売	かみふらの十勝岳観光協会	新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止となった。			
		農業体験観光を通して地域の魅力を紹介する	農業体験・牧場体験・自然体験の実施	NPO法人ネイティブクラーク	5月～3月	—		
		地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止となった。			
		多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う	—	—	—	—		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:大雪・富良野ルート		報告者:ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一						報告年月日:2021/3/31
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	令和2年度					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	
	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生生物遺産の保全・保護と監視を進める	旭岳の管理・自然保護対策	NPO法人大雪山自然学校	5月～11月			大雪山自然学校が実施している自然教育や活動に関するノウハウをルート全体で共有し、活動の強化を図る。
		自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する	—	—	—	—		
		歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る	—	—	—	—		
		地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する	—	—	—	—		
			—	—	—	—		
	ユニバーサルデザインの推進	シーニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う	—	—	—	—		これまで実施したきた取組みについて整理し、これまでのノウハウを踏まえ、ルート全体への展開を検討する。
		地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う	—	—	—	—		
観光振興	田園型リラクゼーション観光の充実	田園型リラクゼーション観光を充実させる	—	—	—	—		美瑛・富良野で実施しているサイクルツーリズムの取組などと連携を図り、田園風景や食などルートらしいツーリズムについて推進する。
			大雪ぐるっとサイクリングウェブサイトの運営	大雪・富良野ルートサポートセンター	5月～11月	主催者約10名		
		もてなしのシーニックバイウェイを充実させる						
	農業と連携した観光のしくみづくり	来訪者と農業生産者をつなぐしくみを検討する	—	—	—	—		農業と連携した観光の仕組みづくりについて、アフターコロナに向けて検討を進める。
		地域の農産物の新たな流通ルートを検討する	—	—	—	—		
		ルートのコミュニティビジネスを興すための検討を進める	—	—	—	—		
	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	シーニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる	情報拠点の運営	かみふらの十勝岳観光協会	5月～9月			情報拠点での情報発信を踏まえ、シーニックらしいランドオペレーションのあり方を検討し、今後の活動に活用する。
		シーニック情報中枢機能を充実させる	道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト	大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、萌える天北オロロンルート、天塩川シーニックバイウェイ	6月1日～9月30日	応募作品:282作品(うち学生部門8作品)	A - 2	
			—	—	—	—		

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト
～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～

- 【概要】大雪・富良野ルートと十勝シーニックバイウェイ（全3ルート）、ガーデン街道協議会が連携して取り組んでいる「人と未来を繋ぐ100年の木プロジェクト」では、継続的に植樹した木の維持管理を実施した。令和2年5月29日・9月23日に植樹した全15箇所、55本の現地確認等を行った。維持管理の状況や今後の活動を検討するために、全体会議を令和2年10月29日に開催した。
- 【日時】総会：5月12日（書面） 維持管理・点検：5月29日、9月23日
全体会議：10月29日（旭川）
- 【場所】大雪・富良野ルート
- 【主催】北海道の美しい景観を育てる会
- 【参加人数】全体会議 約20名、植樹 約10名



現地確認

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト

- 【概要】平成25年から道北のシーニックバイウェイルートが連携し、ルート内の美しい風景や地域資源を収集することを目的に、フォトコンテストを開催。平成30年度からは学生部門を設けた。令和2年度はコロナ禍ということで、過去に撮影した作品の応募も可能とした。作品の応募は、過去最多となった。
- 【募集期間】6月1日～9月30日
- 【日時】6月10日・審査会（オンライン）10月28日
- 【場所】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、萌える天北オロロンルート、天塩川シーニックバイウェイ
- 【主催】道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト実行委員会
- 【参加人数】全応募作品：282作品（うち学生部門8作品）



※※※ グランプリ ※※※

【星空のステージ】

撮影者：鈴木 智博

撮影地：大雪・富良野ルート 美瑛町 美馬牛



※※※ 大雪・富良野ルート賞 ※※※

【薄紅の雪原】

撮影者：三浦 奈津美

撮影地：大雪・富良野ルート 美瑛町十勝岳

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展

- 【概要】 道北シーニック連携フォトコンテスト及び大雪・ルートの風景を一般市民や旅行者にPRするために、過年度のフォトコンテスト入選作品のパネル展を実施した。令和2年度は、10月21日～11月4日に旭川地方合同庁舎アトリウム、令和2年7月20日～8月18日、令和3年1月26日～2月16日に旭川空港で実施した。
- 【日時】 旭川地方合同庁舎アトリウム 令和2年10月21日～11月4日
旭川空港 令和2年7月21日～8月18日、令和3年1月26日～2月16日
- 【場所】 旭川地方合同庁舎アトリウム、旭川空港
- 【主催】 大雪・富良野ルート運営行政連絡会議



旭川空港のパネル展



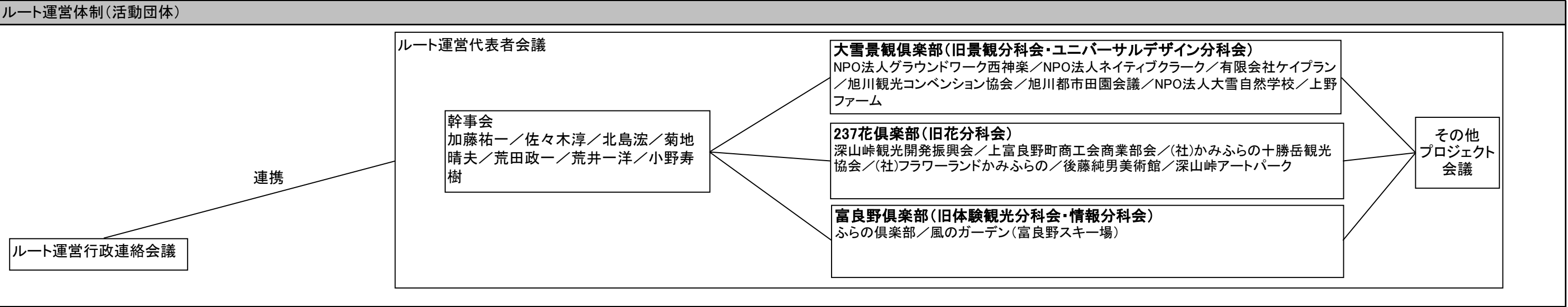
合同庁舎アトリウムのパネル展



3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一	報告年月日:2021/3/31
-----------------	------------------------	-----------------

活動団体
NPO法人グラウンドワーク西神楽／NPO法人ネイティブクラーク／深山峠観光開発振興会／上富良野町商工会商業部会／NPO法人グリーンステージ／(社)かみふらの十勝岳観光協会／(社)フラワーランドかみふらの／旭川観光コンベンション協会／旭川都市田園会議／後藤純男美術館／NPO法人大雪自然学校／上野ファーム／風のガーデン(富良野スキー場)／有限会社ケイプラン／ふらの倶楽部／深山峠アートパーク 全16団体



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議							● 10/28						新型コロナウイルス感染拡大予防のため主にオンラインで会議を開催した。ルート代表者会議1回及び100年の木プロジェクト会議(旭川)1回、事務局会議2回は対面で開催した。
	倶楽部会議(地区)													
	100年の木プロジェクト会議		●書面総会 5/12					●旭川 10/29						
	3ルート連携フォトコンテスト会議			●オンライン 会議 6/10				●オンライン 会議 10/28						
	その他	●事務局会議 4/8					●事務局会議 9/2							

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営連絡会議 代表 熊谷 吉伸	報告年月:2021/3/31
-----------------	------------------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営行政連絡会議													行政連絡会議の開催は見送った。各自治体関係者と個別にコミュニケーションを図った。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営行政連絡会議 代表 熊谷 吉伸	報告年月:2021/3/31
-----------------	--------------------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和2年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	秀逸な道の登録区間の景観改善	通年	旭川開発建設部	秀逸な道の本運用に向けて国道237号深山峠区間について、地域と区間の見直しを行い新たな区間を追加するとともに、秀逸な道の登録に向けて応募申請を行った	道路行政として実施できることを積極的に推進しながら、民間企業を含めた関係機関と情報共有を図り、連携を強化する。100年の木プロジェクトや花の植栽活動などの既存活動については、今後も継続的に実施できるように、側面的な支援を実施する。今後は秀逸な道の本運用に向けて、地域協働で秀逸な道区間の景観保全やPR活動を積極的に行う。	
	波状丘陵地の田園景観を保全する	ゴミゼロキャンペーンへのゴミ袋や火ばさみ、ゴミ処理の支援、活動への参加	新型コロナ感染拡大のため中止となった。	旭川開発建設部・上川総合振興局・旭川市・上富良野町	旭川開発建設部はゴミゼロキャンペーンへの協力として、ゴミ袋の提供や火ばさみの貸し出し、ゴミの処理の準備を行ったが、コロナ禍のため活動は中止となった。		
		S&G人と未来をつなぐ100年の木プロジェクトへの参加(植樹箇所調査・検討、道路占用)	総会:5月12日(書面) 維持管理・点検:5月29日、9月23日 全体会議:10月29日(旭川)	旭川開発建設部・上川総合振興局・旭川市・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・富良野市・南富良野町・占冠村	旭川開発建設部は、国道敷地への植樹については、道路占用を許可している。また、地域が実施する維持管理点検や会議に積極的に参加し、地域との連携を強化している。		A-1
	花人街道としての景観を整える	花の植栽活動への苗の提供などの支援	5月～6月	旭川開発建設部・東川町・上富良野町	旭川開発建設部、東川町、上富良野町は沿道の花植栽への協力として、花の苗などの提供、活動への参加を行った。花植栽により、良好な沿道環境を保つことができた。今後は地域との連携を強化し、継続した取り組みに向けての検討などを行う。		
地域づくり	活力ある地域づくり	地域情報ペーパーの発行・配布	毎月	上川中南部道の駅連携会議、旭川開発建設部	旭川開発建設部は、大雪・富良野ルートのイベント情報などをPRし、誘致を図るために上川中南部道の駅連携会議と連携して地域情報ペーパーを発行・配布した。配布先は、道の駅及び情報拠点等でドライバーに有効な情報発信の充実を図る。	シーニックバイウェイ北海道や秀逸な道の認知度向上を目指し、情報発信を強化する。地域と連携協働し、効果的な情報発信を検討する。各地域が抱える課題を解決する手法としてのシーニックのあり方を検討するため、各地域の課題把握に努める。	
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展による広報活動	10月15日～11月1日 旭川地方合同庁舎アトリウム 1月21日～29日旭川空港	旭川開発建設部・旭川市・東神楽町	旭川開発建設部は、旭川地方合同庁舎アトリウム(10月15日～11月1日)、旭川空港(1月21日～29日)に、道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテストの入賞作品パネル展を実施し、たくさんの方にシーニックバイウェイの風景についてPRするとともに、ドライブ情報紙「シーニックバイウェイ」等も配布し、多くの方にSBWの取り組みをPRしている。		A-3
	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	—	—	—	—		
	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	—	—	—	—		
	ユニバーサルデザインの推進	—	—	—	—		
	田園型リラクゼーション観光の充実	—	—	—	—		
観光	農業と連携した観光のしくみづくり	—	—	—	—	シーニックバイウェイを観光ブランドとして育てていけるように、情報発信を強化する。また、他ルートの連携により、広域での観光振興を支援する。	
		ルートHPへのリンクを実施	通年	旭川開発建設部・上川総合振興局旭川建設管理部・旭川市・富良野市・東神楽町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	左記機関は、ルートのホームページへのリンクを、各々のホームページに掲載。ルートのホームページPRIに協力した。		